

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a pinstriped suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is a solid, dark grey.

學長三浦鞆郎

年度のはじめにあたって

日本工業大学通信

発行所
日本工業大学
広報課
埼玉県南埼玉郡宮代町
郵便番号 345
電話 0480(34)4111

グリーン、クリーン
キャンパス
大切にしよう

これが大学の教育である。大学では、教育と研究は二つのものではない。いよいよ満二十年を迎えようとして、ますます活発な研究教育活動を展開していきたいものである。

究である、研究とは何であるかを知り、研究的姿勢を身につけることが大学四年間の課題である、と言っている。

学生は、一―二年で基礎的な学習をし、三―四年では各研究室に配属されて、直接先生方の研究に接し、そのお手伝いをし、自らもテーマを買って卒業研究をまとめることになる。この体験は、学業を終えて社会に出たとき、無限の可能性を秘めて生きてくることになるのである。

フレイミング・フェイス

20回目の入学式挙行政



4月4日の入学式から

特別奨学生

61年度

▽機械工学科



菊川 茂
(新潟工)



森 弘
(大宮工)



西村 稔
(柏崎工)



森元基
(札幌工)



大橋 裕之
(春日部工務)



山田 猛
(久喜工)



徳家直
(東京工



原島
(太田工



広瀬正
(下館工)



岩瀬 晃
(東総工)

▽電気工学科

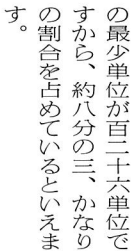


出身高校別入学者数



- | | | | |
|---|--|----------------------------|--|
| 【北海道】帯広工1 釧路工4 美唄工2 札幌工2 倶知安1 苫小牧工3 室蘭工2 旭川工4【青森】青森工5 五所川原工5 弘前工5 十和田工4 むつ工2 南部工4 野辺地工1【岩手】大船渡工2 黒沢尻工1 宮古工2 一関工1 釜石工3 盛岡工1【宮城】石巻工2【秋田】男鹿工1 能代工5 小坂1 大曲工5【山形】鶴岡工4 山形工3 東根工1 米沢工5 新庄工3 酒田工2 長井工1 羽黒工1【福島】福島工7 勿来工2 平工4 小高工2 郡山北工2 塙工1 喜多方工1 会津工6 白河実1 福島2【茨城】総和工6 水戸工7 勝田工6 高萩工3 日立工1 土浦工5 下館工20 大宮工2【群馬】太田工9 藤岡工5 高崎工7 前橋工6 伊勢崎工3 桐生工5 渋川市工2【栃木】足利工9 真岡工3 宇都宮工10 今市工1 栃木工10 作新学院1 足利学園1【埼玉】狭山工8 行田工13 久喜工9 浦和工6 秩父農工5 川越工19 玉川工1 春日部工31 川口工11 大宮工17 熊谷工12 新座総合技術4 越生2【千葉】千葉工8 茂原工5 市川工3 東総工6 東総工8 清水工2 | 千葉経済2 千葉工商1【東京】東京大付工1 足立工7 王子工3 本所工7 江東工4 杉並工3 葛西工7 小金井工7 練馬工3 向島工2 烏山工2 荒川工7 田無工2 墨田工1 北豊島工1 多摩工1 府中工2 港工2 世田谷工1 小石川工1 本郷1 豊島実3 岩倉1 安田学園3 目黒3 昭和工6 関東一7 東京電機大1 独協1【神奈川】神奈川工6 藤沢工2 相模台工1 横須賀市工2 鶴見工1【山梨】谷村工1 甲府工1 北富士工3 韮崎工3 機山工5 峡南2【長野】岩村田5 駒ヶ根工1 上田千曲6 箕輪工2 池田工3 松本工6 岡谷工2 中野実2 飯田工5 飯田長炬2 長野工8【新潟】直江津工2 新潟工5 三条工3 新発田南2 高田工6 新潟東工1 長岡工5 燕工6 柏崎工3 高志1【静岡】静岡工6 浜松工1 浜松城北工8 島田工5 沼津工4 引佐2 清水工2 吉原工1 掛川工3 修善寺工5 静岡工2【愛知】豊橋工3 一宮工1【岐阜】大垣工1 岐阜西工1 可児工2 岐南工2 関商工1 | 【富山】富山工5 高岡工芸1 大沢野工2 不二越工1 | 【石川】羽咋工3 七尾工1 金沢市工2【福井】敦賀工6【滋賀】瀬田工1【京都】伏見工1 宮津1【三重】津工2 伊勢工1 日生学園一1【和歌山】和歌山工2 新宮工1【奈良】吉野3【大阪】布施工1 今宮工1 工芸1 都島工1 太成3 浪速工1【兵庫】姫路工1 尼崎工1 東播工1 洲本実1 龍野実2 豊岡実1 市神戸工1【岡山】東岡山工2 水島工3 津山工4 関西一1【広島】木江工1 宮島工3 三次工2 広島工1 広島市工1【山口】下松工1 宇部工1 早鞆1【鳥取】境港工2 鳥取工1 倉吉工1【根県】松江工1 江津工1【香川】高松工芸2 坂出工1【徳島】貞光工1【愛媛】松山工3 新居浜工2 八幡浜工2 田1【高知】高知工2 高知東工1 須崎工1【福岡】小倉工1【佐賀】鳥栖工1【長崎】佐世保工1 上五島1【大分】大分工4 鶴崎工2 津久見1【宮崎】日南工1 都城工2 小林工1【鹿児島】鹿児島工2 出水工1 大島工2 川内商工1 加治木工工1 沖縄工3 美里工2 |
|---|--|----------------------------|--|

川 副 富 男



社会、政治、人間、生命などについて総合的な判断力を身につける人間教育の場でなくてはならないとの反省が行わ

神は……密林の中に（道）を見出そうとする。……教養とは、生の難破を防ぐもの、無意味な悲劇に陥ることなく、過度に品格を落すことなく生きて行くようにさせるところのものである」

スペインの哲学者オルテガ

の言葉です。専門の技術者として、生きている限り何らかの問題にぶつかり迷う。そのとき、道を見出してくれるのが、教養ということです。

一つの事実がもっている意味は、その見方によつて様々に變りうるものです。ある事柄、または問題に直面し、それが解決不能と思われるときでも、別の見方をすればそこに道が見出されることもあり得ます。教養とは、その時と場合

所を支配している偏見にしば
られず、より広い視野の中で
事物の意味を読み直し、混沌
の中に道を見出していく人間
の総合的な判断力の基になっ
ているものです。

バンクーバ博に出品
小倉研から新型カー

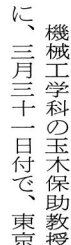
し、その価値を尊重しながら共存の道をさぐって行くのも教養の力です。

では、大学の教養科目がそれほど大きな人間教育をしてくれるのかと問われれば、教師の一人としていささかひるまざるをえません。しかし、

教養科目がどのような歴史的反省によって設置されたか、また、教養とは何か、何故必必要かを理解したうえで授業にのぞめば、そこから得るものはおのずから異ってくるのではないでしょう。

(教養科主任教授)

玉木助教授に
工学博士授与
エール大で
長期研修



工業大学から、工学博士の学位が授与された。学位論文は「骨の強度、形状、力学構造に関する研究」。

同助教授は、現在、米国のエール大学医学部整形外科部門で、「脊柱の力学構造の実験的研究」を進めている。

革新性が勝負

6人の学生、連夜の奮闘

「動く世界、ふれあう世界」 日から十九日までの九日間をテーマに、エキスポ86がカバンクーパーにあるブリティ

本からは本学のほかに、武蔵工業大学チームが参加する。遅くまで作業しているんですよ（小倉助教授）

の採用も検討している段階だが、間もなく結論がでる模様

ナダのバンクーバーで開催されるが、この開催期間中に行われる Innovative Vehicle Design Competition に機械工学科の小倉勝研究室から新型カーが出品される。現在、六人の学生が合宿をしながら車の製作に取り組んでいる。この催しは、エキスポの一角プログラムとして、七月十一

ツシュコロンビア大学で、排気ガステスト、走行テスト、エンジンパワーやブレイキ、革新性の評価を含めた性能テストなどを行い、優秀を競い合うもの。コンペには世界各国から十二チームの参加が決まっており、それぞれのチームは技術系の学校で学んでいる学生で構成されている。日

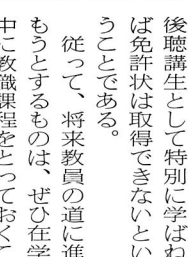
「昨年の二月下旬に審査論文を提出し、四月下旬にOKの回答をもらい、早速、車の設計に取りかかったが、当時の四年生はすでに卒業論文のテーマが決まっていたため、設計・製作に携わった四年生は一人だけといった有様。三年生のゼミグループ六人が九月から加わったが、授業の関

今回出品する車の特長はボディのベースフレームに全属は一切使わずに、全モノコックFRPを採用、軽量化を図っている点である。この製法は加工性に優れ、製作しやすい点に利点がある。上型と下型を一体成型し、その後切断しながらパーツの型を完成させていくやり方なので、

小倉勸教授を中心に、製作に関係している学生は、桐城寛仁(本郷) 富田弘志(下館工) 杉山一郎(東京工) 松山繁(同) 岩瀬健樹(土浦工) 本滝一徳(平工) の六人。

一行は、七月九日成田を立ち、開催期間中ブリティッシュユニバーシティの学生寮に滞在することになる。

教職をめざす学生への助言



土井正志智

後聴講生として特別に学ばねば免許状は取得できないということがある。

期待を抱いておるのであって、
 本学の教職課程に学んで教職
 に就かれた方々はよくこの期
 間、下旬を中心として行われるの
 ばならない。採用試験は七月

従って、将来教員の道に進もうとするものは、ぜひ在学中に教職課程をとっておくことをおすすめしたい。

待に伝えてくれたことを心から感謝している。

さて、教職課程の履修についてであるが、学生便覧に書かれている通り、四年生になってから準備したのでは遅く、三年生のうちから勉強することが必要である。

次には、教職課程の科目の単位は、卒業に必要な単位数には入らないので、教職課程学校を出て本学に学ぶ諸君には、

受験願書の提出。一次・二次試験の可否。採用内定。決定等は教職課程研究室に必ず

をとる学生は、卒業に要する単位プラス教職課程の単位をとることに、多少余計に普通^①の工学部を出た者と比較

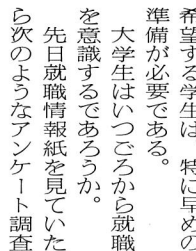
いては余り問題はないが、中学校技術科については、やはり後は必ず住所等を連絡するようにして下さい。教員になつて

さて、工業科、技術科の両
学科とも実技が大変重視され、
工業科や技術科の指導に当た
つてきたが、最も困ったことと
する。筆者は長年文部省にあつて
断然優れている点である。

人間で話し合って勝手に解釈することせず、わからぬ点は遠慮なく教職課程研究室へ尋ねにくるようにしたい。最後に採用試験受験について

（教職課程・教授）

池田義雄



が、着実な早めの研究が必要である。今年は貿易摩擦や、円高の影響で企業によってはかなり厳しいところもあり、求人の実体がどのようになる

ま出たのでできました」と得意顔で言われることがあるが、よく聞いてみるとあやしくなってくる。同じ問題でも高卒と大卒とでは答え方も違うはずである。

問題であるので安易に決めないことであるが、優柔不断は禁物である。面接でこの態度では落とされること間違いなのである。若さと明朗さでがんばろう。(就職指導室長)

ている。最初に注意しなければならぬことは、この二種類の免許状の何れもが、通信教育では取得できないので、在学中に教職課程を履修して免許状をとらなければ、卒業

さて、工業科、技術科の両教科とも実技が大変重視され、実習で教える教科であると言

普通の工学部を出た者と比較すると断然優れている点である。

面倒などところもある。友人
人間で話し合って勝手に解釈
することをせず、わからぬ占
は遠慮なく教職課程研究室へ
尋ねにくるようにして欲しい。
最後に採用試験受験について

うにして下さい。教員になつた人達の研究会もあり、時々集まって互いに励まし研究し合いつつ勤めているのが現状です。

（教職課程・教授）

人事異動

四月一日付

任用

▽電気工学科教授
松田郁夫（まつだ・いくお）



昭和七年一月二十七日生。

三十九年三月、電気通信大学電気通信学部通信経営工学科卒業。前通産省工業技術院電子技術総合研究所電子計算機部アナログ情報研究室主任研究官。工学博士（東京大学）。研究業績賞、電気学会論文賞を受賞している。

▽建築学科教授
高橋久雄（たかはし・ひさお）



大正十四年二月二十五日生。

昭和十九年九月、仙台工業専門学校建築学科卒業。東京都庁舎営繕部、株・大林組技術研究所材料第二研究室室長を経て、八洋コンクリートコンサルタント・株取締役（技術部長）となる。工学博士（東京大学）。

▽システム工学科教授
野口卓也（のぐち・たくや）



昭和十三年十二月七日生。三十九年三月、東北大学大学院工学研究科修士課程（電気）



小泉昇三（こいずみ・しろう）

大正十四年四月二十三日生。

昭和二十八年、日本大学工学部電気工学科卒業。前東京大学工学部資源開発工学科教室助手・通産省工業技術院地質調査所調査員。



平賀義彦（ひらが・よしひこ）

昭和十六年五月二十五日生。昭和十六年十二月、東京帝国大学理学部数学科卒業。前防衛大学校教授。

▽教養科講師（数学）
池山保（いけやま・たもつ）



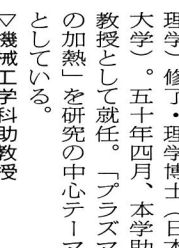
昭和二十八年二月十四日生。

五十八年三月、筑波大学大学院博士課程数学研究科修了。理学博士（筑波大学）。

▽外国人講師（英語）
ロドニー・D・フィンドリー



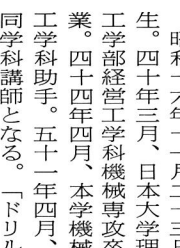
一九六三年九月二十八日、カナダ生まれ。八十五年、マツシラ大学（カナダ・モンクトリオール）卒業。EFL（英語を外国語とする者を対象に英語を教える）有資格者。



窪田英毅（くぼた・ひでたか）

昭和十四年四月二十三日生。

昭和二十八年、日本大学工学部電気工学科卒業。前東京大学工学部資源開発工学科教室助手・通産省工業技術院地質調査所調査員。



飯塚完司（いづか・かんじ）

昭和十六年十一月二十三日生。四十年三月、日本大学理学部経営工学科機械専攻卒業。四十四年四月、本学機械工学科助手。五十二年四月、同学科講師となる。「ドリル穴加工を主体にした切削加工」についての研究を進めている。

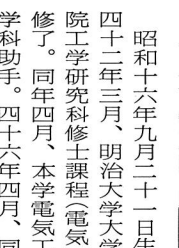
▽機械工学科助教授
酒井茂紀（さかい・しげき）



昭和十八年九月十三日生。

四十二年三月、明治大学工学部機械工学科卒業。四十四年四月、本学機械工学科助手。五十二年四月、同学科講師。現機械工作センター主任。マイクロ加工技術の放電加工、電解加工を含む電気加工の研究が中心。

▽電気工学科助教授
堀田勝喜（ほったかつよし）



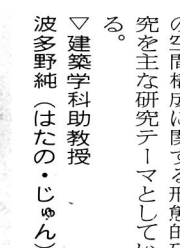
昭和十六年九月二十一日生。四十二年三月、明治大学大学院工学研究科修士課程（電気）修了。同年四月、本学電気工学科助手。四十六年四月、同学科講師。新しい電気材料、



伊藤庸一（いとう・ゆういち）

昭和二十年一月十六日生。

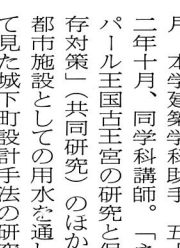
昭和二十八年、東京工業大学工学部建築学科卒業。同年四月、本学建築学科助手。五十二年十月、同学科講師。集落の空間構成に関する形態的研究を主な研究テーマとしている。



波多野純（はたの・じゅん）

昭和二十一年十二月三日生。四十五年三月、東京工業大学工学部建築学科卒業。同年四月、本学建築学科助手。五十二年十月、同学科講師。「ネパール王国古王宮の研究と保存対策」（共同研究）のほか、都市施設としての用水を通して見た城下町設計手法の研究を進めている。

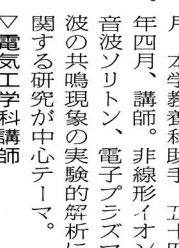
▽教養科助教授
塚林功（つかはやし・いさお）



昭和二十一年十一月三日生。

四十四年三月、東京理科大学理学部物理学科卒業。同年四月、本学教養科助手。五十四年四月、講師。非線形イオン音波ソリトン、電子プラズマ波の共鳴現象の実験的解析に関する研究が中心テーマ。

▽電気工学科助教授
高橋明遠（たかはし・あきと）



▽渡辺絹江（総務部経理課）



石川豊（いしかわ・ゆたか）

昭和二十五年三月二十四日生。四十七年三月、明治大学工学部電気工学科卒業。同年四月、本学電気工学科助手。光散乱現象の機構、過程などについての研究を進めている。

▽電気工学科講師
石川豊（いしかわ・ゆたか）



昭和三十一年五月二十六日生。五十九年三月、慶應義塾大学大学院工学研究科博士課程（電気）修了。工学博士（慶應義塾大学）。同年四月、本学電気工学科助手。半導体デバイス作製の重要技術である、Siへの不純物の拡散機構の解明に力を注いでいる。

▽桑田正信（電気工学科教授）
五月十六日、教授に就任。



「植物電気」という特異な研究分野で活躍。本年度非常勤講師。工学博士。

▽木村蔵司（建築学科教授）
四十五年四月教授に就任。「建築構造のせん断耐力」の研究を続けてきた。前建築学科主任。工学博士。

▽横内龍雄（システム工学科教授）
システム工学科設立時の五十二年四月教授に就任。「品質管理」「IE」などを担当。システム工学科主任として長い間活躍。

▽T・J・マックグラス（外国人講師（英語））
※選考方法は、書類審査と面接。

退職
三月三十一日付

工学部入学試験日程

機械工学科 200名 電気工学科 200名 建築学科 200名 システム工学科 120名

推薦入学募集		一般入学募集	
出願期間	11月1日～15日	1月10日～2月13日	
試験日		2月15日～16日	
合格発表	11月21日	2月21日	
入学手続	第一回目 12月10日まで 第二回目 1月31日まで	2月28日まで	
選考方法	書類審査	調査書、筆答・面接による総合審査〔筆答科目〕 英語、数学、工業科目	

大学院入学試験日程

機械工学専攻 8名 電気工学専攻 8名 建築学専攻 8名

推薦募集		一次募集		二次募集	
出願期間	9月11日～24日	10月4日～11日		2月21日～3月3日	
試験日		10月13日～14日		3月5日～6日	
合格発表	9月29日	10月18日		3月10日	

特別奨学生 入学試験

これからの行事予定

- ◎出願期間
9月16日～9月30日
- ◎第一次審査合格発表日
10月9日
- ◎第二次審査（面接）
10月15日
- ◎第二次審査合格発表日
10月20日
- ※選考方法は、書類審査と面接。
- 【5月】
18日 後援会総会
22日 学生総会（午後休講）
28日 体育祭（休講）
- 【6月】
28日 創立記念式典（休校）
29日 創立記念日
- 【7月】
10日 休講
11日～23日 前期末試験
24日 補講
- 【8月】
24日～9月19日 夏期休暇
- 【9月】
18日 前期末成績発表
20日 後期授業開始
- 【10月】
4日～8日 履修申告
31日 休講
- 【11月】
1日～3日 大学祭
4日 休講
19日 学生総会（午後休講）
- 【12月】
21日～25日 スキー教室
22日～1月9日 冬期休暇
- 【1月】
10日 授業開始
23日～2月4日 後期末試験
- 【3月】
9日 学年末成績発表
20日 卒業証書・学位記授与式

カナダ・バンクーバー／UBC

短期留学レポート

昨夏、カナダ・バンクーバーにあるプリティッシュ・コロンビア大学（UBC）の語学研究所で、本学生三十人が参加して、第二回目の語学研修が行われた。ホームステイをしながらのこの英語会話研修の旅に、編集子も同行する機会をもったので、短期留学について簡単にまとめてみた。

この緑豊かな清潔なキャンパスには、いろいろな施設が整っている。交番がある。毎日ボリスがバイクでキャンパスを巡回している。銀行がある。ここでカナダドルに換金する。郵便局や外国人学生のための診療所もある。学生が頻りに利用するのが、SUBと呼ばれるスチューデント・ユニオン・ビルディング。

学生が短期留学中、宿泊はホームステイとなる。カナダの中流家庭で、とくにUBCが厳選した家庭。学生は家族の一員として、それぞれの家庭に入るわけだが、言葉や生活習慣の違いから、慣れるまではとまどうことも多い。だが、UBC側のホームステイのコーディネーターとそれぞれの家族がお互いに連絡を取り合い、何か不都合なことがあれば、すぐに対処する態勢をとっている。大きな問題はずっと起らない、という。

最近、日本人も含めて、留学生が増え続けているが、UBCではあくまでも一定の基準をもつ家庭をホームステイとして設定している。TESSL (Teaching English as a Second Language) という外国語教育の資格をもつ人があたる。教師にはカルチャーアシスタントがつき、研修の手助けをする。

研修の内容は、たとえば、バンクーバー市内の地図をしながら十分間のコーヒープレイクが入る。教師には、TESSL (Teaching English as a Second Language) という外国語教育の資格をもつ人があたる。教師にはカルチャーアシスタントがつき、研修の手助けをする。

午後から実際にダウンタウンに繰り出して見聞する、といった具合で、教室内外で研修が行われる。フィールドトリップ、レストランでの食事、映画鑑賞なども、あらかじめ教室で話題にしたうえで、実施される、という実践的な研修内容である。

研修期間が三週間と短いため、英語を話す能力はそれほどでもないが、聞く能力が驚くほど向上したことは大収穫といえよう。カナダでの生活体験が学生をひと回り大きくしたことは確かであろう。

(編集員)

体育会・文化団体連合会 所属団体一覧

①顧問 ②学生責任者・学科学年

体育会

▽アーチェリー部①高橋篤夫教授②岡村昌博・E3▽アメリカフットボール部①酒井誠助教②別府和典・E4▽ウエイトリフティング部①松木繁教授②高橋義光・A4▽応援団①窪田英毅助教②大内薫・A3▽空手道部①竹内淳彦教授②豊田充教・A4▽剣道部①難波恒夫助教②本田浩基・A4▽硬式野球部①鈴木一良助教②清水徹也・A3▽硬式野球部①柳沢章助教②佐藤敏昭・M4▽ゴルフ部①長田重慶教授②佐藤芳弘・E4▽サッカー部①城戸卓男講師②葉村光嘉・S4▽射撃部①高橋琢二教授②滝沢憲仁・E4▽柔道部①大川陽康教授②武石克己・M4▽少林寺拳法部①大久保弘毅教授②星野幸彦・S3▽スキー部①酒井茂紀助教②佐藤哲司・E4▽体操競技部①小林勉教授②石川勝彦・E4▽卓球部①齋

▽バレー部①高橋篤夫教授②岡村昌博・E3▽アメリカフットボール部①酒井誠助教②別府和典・E4▽ウエイトリフティング部①松木繁教授②高橋義光・A4▽応援団①窪田英毅助教②大内薫・A3▽空手道部①竹内淳彦教授②豊田充教・A4▽剣道部①難波恒夫助教②本田浩基・A4▽硬式野球部①鈴木一良助教②清水徹也・A3▽硬式野球部①柳沢章助教②佐藤敏昭・M4▽ゴルフ部①長田重慶教授②佐藤芳弘・E4▽サッカー部①城戸卓男講師②葉村光嘉・S4▽射撃部①高橋琢二教授②滝沢憲仁・E4▽柔道部①大川陽康教授②武石克己・M4▽少林寺拳法部①大久保弘毅教授②星野幸彦・S3▽スキー部①酒井茂紀助教②佐藤哲司・E4▽体操競技部①小林勉教授②石川勝彦・E4▽卓球部①齋

▽ハンググライダー部①小倉勝助教②都築正行・A3▽無線部①中道一郎教授②小林智・E3▽BJPフルバンドジャズサークル①新妻弘助教②高谷博・E4▽モダンフ

▽放送研究会①片山滋友講師②高橋学・S3▽鉄道研究同好会①岩瀬勝教授②浅見裕己・M3▽漫画研究同好会①和田敏一教授②藤谷智彦・E3

▽放送研究会①片山滋友講師②高橋学・S3▽鉄道研究同好会①岩瀬勝教授②浅見裕己・M3▽漫画研究同好会①和田敏一教授②藤谷智彦・E3

▽放送研究会①片山滋友講師②高橋学・S3▽鉄道研究同好会①岩瀬勝教授②浅見裕己・M3▽漫画研究同好会①和田敏一教授②藤谷智彦・E3

第3回 日本工業大学
カナダ短期留学(語学研修)

期 間	61年8月3日～8月28日〈26日間〉
費 用	580,000円(30人の場合)
研 修 先	プリティッシュ・コロンビア大学(UBC)の語学研究所(カナダ・バンクーバー市)
プログラム	月～金曜日 午前中3時間教室で授業、午後は特別英語。週1回フィールドトリップがある。
カリキュラム	①聞いて理解する力②単語と熟語③英会話④バンクーバー市内での英語の実践的な活用
宿 舎	ホームステイ(バンクーバー市在住のカナダ人の家庭に滞在し、その家族の一員として生活する。)
そ の 他	UBCでの語学研修終了後、アメリカのサンフランシスコとロサンゼルスへ渡り、研修成果を実践する。オプション・ツアーもある
窓 口	教務課



期 間	61年8月21日～9月11日 〈22日間〉
費 用	595,000円
行 き 先	アテネ→ローマ→フィレンツェ→ベニス→ミラノ→チューリッヒ→ローデンブルグ→ハイデルベルグ→ルクセンブルグ→ナンシー→パリ→バルセロナ→マドリッド→ロンドン
窓 口	学生課